

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	都市計画道路西富岡石倉線整備促進事業			事業番号	31-106
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部国県事業推進担当	三宅伸宏	国県事業対策課	石井 渉	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち		
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり		
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる		
		施策	31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進		
予算事業名	広域幹線道路推進事務費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—	
関連法令等	道路法、道路法施行令、都市計画法					
国・県の計画等	かながわのみちづくり計画			計画期間		
関連個別計画				計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	新東名高速道路の伊勢原北インターチェンジ(仮称)へのアクセス道路となる「都市計画道路西富岡石倉線」の整備が、神奈川県により進められています。					
目的 (何をどうしたいのか)	新東名高速道路の開通に合わせた都市計画道路西富岡石倉線の整備促進を図るとともに、地域に対する様々な機会を通じた情報提供など、地域支援を行います。					
主な対象 (誰・何を対象に)	都市計画道路西富岡石倉線を利用する市民等					
事業内容 (手段、手法など)	・新東名高速道路等の整備に合わせた開通に向け、事業者と連携しながら、地域連絡会等を通じた情報提供や地元意見の把握に努めると共に、整備促進、周辺環境整備についての調整を進めます。					
事業行程	項目	年度				
		28年度	29年度			
	事業スケジュール	用地取得・文化財調査・工事		用地取得・文化財調査・工事		
	地元調整	継続実施		継続実施		
関係機関調整	継続実施		継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度			
			28年度	29年度		
	都市計画道路西富岡石倉線の整備促進	事業促進	事業促進	事業促進		



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	地域連絡会等を通じ、工事等の情報を提供や地元意見の把握に努めるとともに、事業者と連携した計画道路の整備促進、周辺環境整備についての調整を進める。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		28年度	29年度
	事業スケジュール	用地取得・文化財調査・工事	
	地元調整	継続実施	
	関係機関調整	継続実施	
実施した取組の内容	都市計画道路西富岡石倉線の新東名高速道路に併せた開通に向け、事業を円滑に促進するため、通過する3地区において地域連絡会を開催するとともに、関係機関等との連携を図りました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度
			28年度
	都市計画道路西富岡石倉線の整備促進	事業促進	事業促進

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		113		千円					千円
内訳	国県支出金 ①	0		千円					千円
	地方債 ②	0		千円					千円
	その他特財 ③	0		千円					千円
	一般財源 (a)-①-②-③	113		千円			0		千円
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期			
		その他							
人件費	正規職員	0.24	人	2,076	千円		人		千円
	その他の職員	0.24	人	583	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.48	人	2,659	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				2,772	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	定義		都市計画道路西富岡石倉線を利用する全市民		単位		単位	
		対象数		101,635		人			
		総事業費／対象数		27		円		円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	都市計画道路西富岡石倉線の新東名高速道路に開通に併せた開通に向けた事業促進を図るため、地域連絡会を開催し市民要望の把握や情報提供に努めるとともに、関係機関等との連携を図った。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	都市計画道路西富岡石倉線は、新東名高速道路、国道246号バイパスのインターチェンジへのアクセス道路として、市内の幹線道路を結ぶ都市計画道路である。その目的や用途から他市の道路整備水準と比較することはできない。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	新東名高速道路の開通に併せ都市計画道路西富岡石倉線の整備を促進するため関係機関との連携を図るとともに、地域連絡会を開催するなど地域に対する情報提供を行った。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	新東名高速道路の開通に合わせた都市計画道路西富岡石倉線の供用開始を目指し、経費を抑えつつ、関係者協議を進めるとともに地域連絡会を通じた情報提供を実施し、事業の整備促進を図った。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	市内では着々と広域幹線道路工事が進められてきており、工事に関する地元との具体的な調整事項が増加している。事業者と連携し地元調整会議等の機会を設け、工事計画や内容、進捗状況等について、広く市民等へ状況提供していく必要がある。
次年度取組方針		地域連絡会等を通じ、工事等の情報を提供や地元要望や意見の把握に努めるとともに、事業者と連携して都市計画道路の整備促進や、周辺環境整備について調整を進める。		
所管部長による総評		本路線は、新東名高速道路、国道246号バイパスのインターチェンジへのアクセス機能を担う道路であるため、これらの事業に併せた整備が必要であり、引き続き事業者と連携しながら本事業の促進を図るべきと考える。		